

米国 NY連銀管轄地区製造業の緩やかな拡大持続を示唆
 (07年2月NY連銀製造業景気指数)
 発表日：2007年2月15日(木)
 ～設備投資見通しも高い水準維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/05	27.91	23.93	27.11	4.75	-9.09	5.79	9.92	52.89	19.01	11.57
06/06	16.68	13.56	12.05	4.76	-12.84	4.59	0.92	50.46	16.51	5.50
06/07	14.11	19.06	16.83	7.06	-10.66	1.64	-1.64	44.26	14.75	13.93
06/08	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/09	15.40	15.37	21.05	13.28	-4.00	0.00	-3.00	41.00	16.00	23.00
06/10	21.19	12.94	22.91	20.06	2.50	-5.00	-3.33	30.83	17.50	14.17
06/11	25.00	21.10	26.96	23.85	3.77	4.72	0.00	34.90	16.98	10.38
06/12	22.19	22.52	27.60	18.60	-7.87	1.12	-14.61	28.09	13.48	7.87
07/01	9.13	10.26	16.11	6.91	-19.15	-5.32	-8.51	35.11	19.15	-1.06
07/02	24.35	18.93	27.07	12.70	-7.53	-3.23	0.00	26.88	12.90	5.38

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/05	31.37	37.15	33.22	21.63	-4.88	-0.81	5.65	59.35	36.90	8.83	32.52
06/06	33.42	35.30	32.23	16.13	-2.50	-1.67	3.28	62.50	38.63	4.72	20.00
06/07	42.55	42.94	41.98	18.74	-11.93	-1.83	5.76	60.55	41.15	7.40	22.02
06/08	37.31	37.39	37.24	20.75	-2.46	-9.02	-0.33	54.92	39.52	6.51	26.23
06/09	35.89	40.40	42.73	19.58	-9.00	-9.00	3.33	52.00	32.88	8.12	36.00
06/10	32.20	35.45	33.37	24.94	-1.68	-4.20	8.54	39.50	23.04	10.29	30.25
06/11	36.75	40.25	43.55	22.38	-4.72	-2.83	11.69	45.28	24.43	8.31	31.13
06/12	41.85	44.62	40.73	30.37	13.48	3.37	9.23	47.19	25.44	11.66	39.33
07/01	32.54	34.14	28.47	31.12	2.13	-1.06	-8.50	45.74	22.39	12.39	31.91
07/02	38.49	36.95	42.16	29.54	6.45	6.45	17.52	37.63	27.62	16.02	31.18

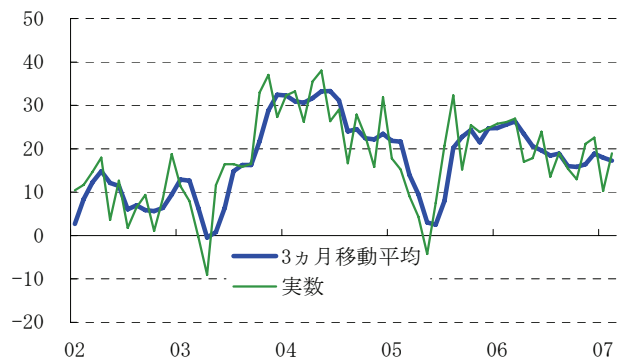
前月比 15.22 ポイント上昇

2007年2月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は+24.35と前月から15.22ポイント上昇し、市場予想の10.6を上回った。新規受注、出荷、雇用がプラス幅を拡大し、入荷遅延、在庫がマイナス幅を縮小した。この統計は月次での変動が大きいので3ヵ月移動平均でみる必要があり、それでは総合、新規受注ともに安定した拡大を示す水準を維持している。このため、同地区製造業部門は2月にかけて緩やかな拡大基調を維持していると判断される。

NY連銀製造業景気指数の推移



NY連銀製造業新規受注DIの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。

**2月の同地区生産
の拡大ペース加速
が見込まれる**

生産関連では、出荷が+27.07（前月+16.11）とプラス幅を拡大し在庫指数は▲7.53（同▲19.15）とマイナス幅を縮小させた。さらに、新規受注指数が+18.93（同+10.26）と上昇したことから、NY連銀管轄地区の生産活動の拡大が示唆されている。

雇用関連に関しては、雇用指数が+12.70（同+6.91）と上昇し、週平均就業時間がプラスに転じていることから、2月の同地区製造業雇用は増加ペースが加速するとみられる。

企業収益では、仕入れ価格が+26.88（前月+35.11）とプラス幅が縮小した。一方で、販売価格のプラス幅が小幅低下にとどまったため、
交易条件は改善したが、依然として
マイナスの水準であり引き続き企業の
コスト削減圧力の強い状態が
持続していると判断される。

**先行きに楽観的であり
予想される生産の
鈍化も小幅なものに
とどまるとみられて
いる**

6ヵ月先予測では、総合指数は前月から上昇し高い水準を維持しており先行きに対して楽観的な見方を維持している。

生産では新規受注の「増加を見込んでいる割合」、出荷の「増加を見込んでいる割合」、受注残の「増加を見込んでいる割合」が上昇していることから、今後生産の拡大ペースが加速することを示唆している。

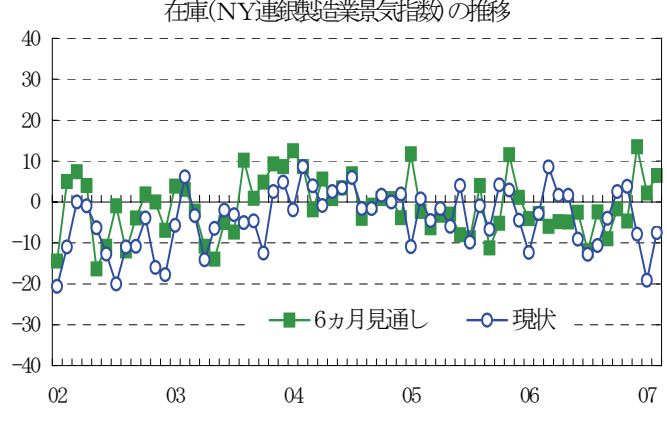
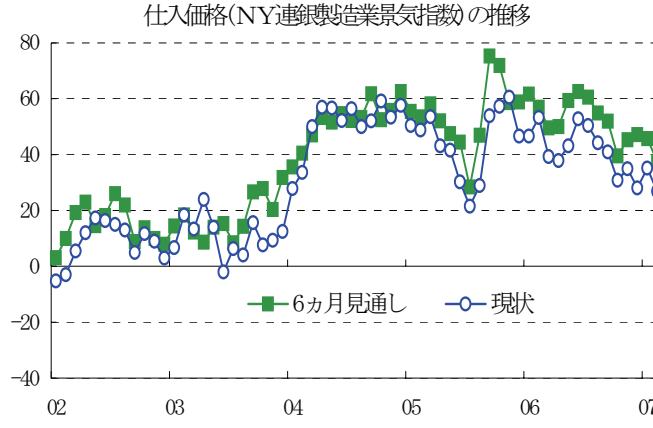
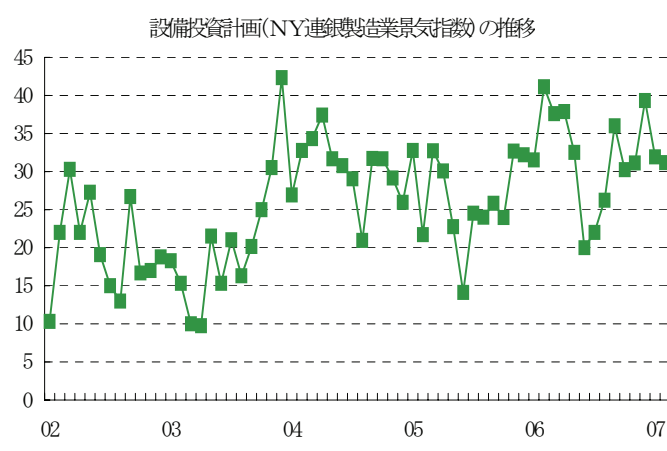
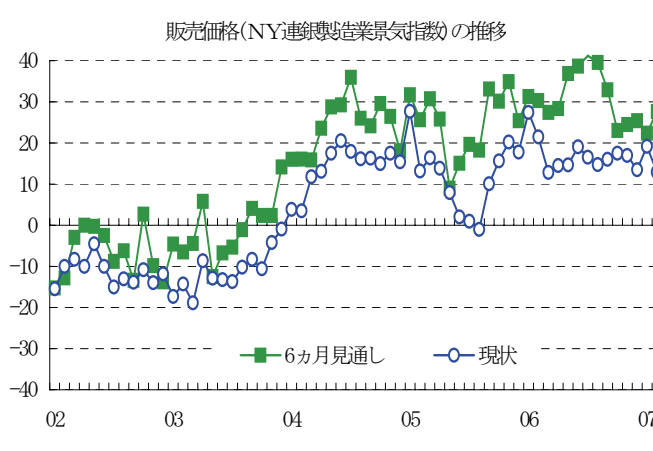
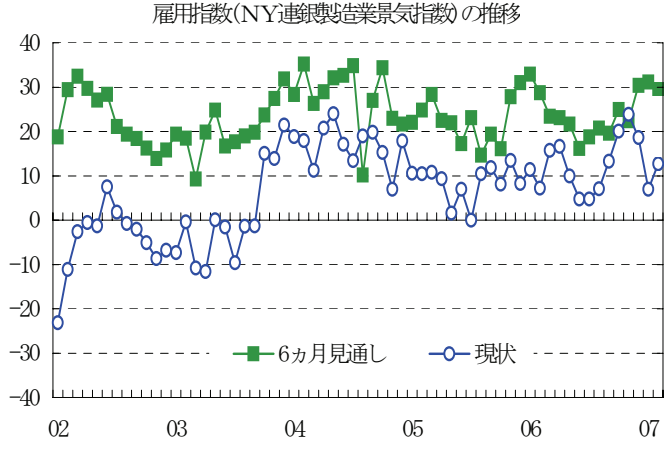
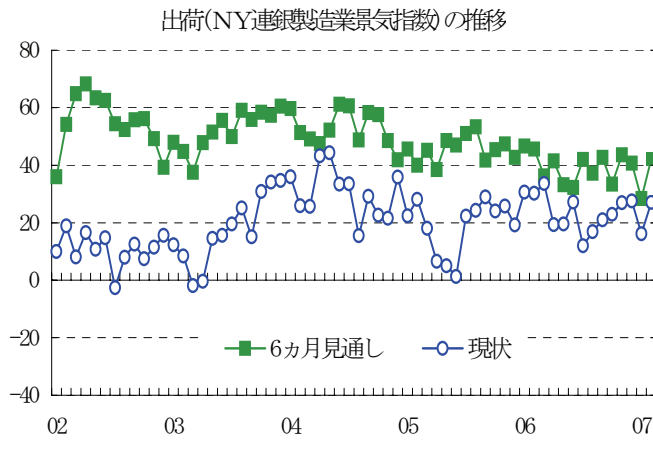
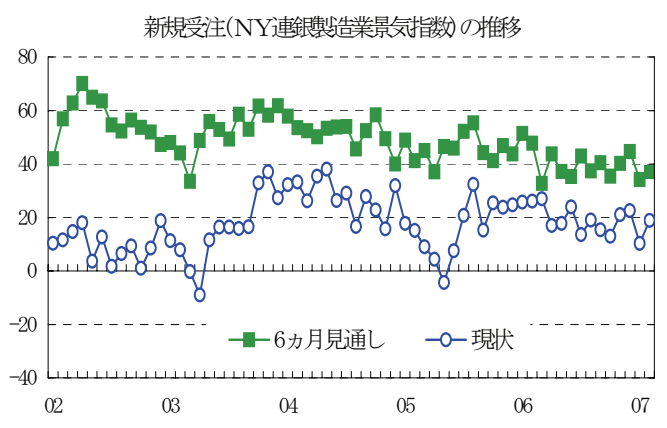
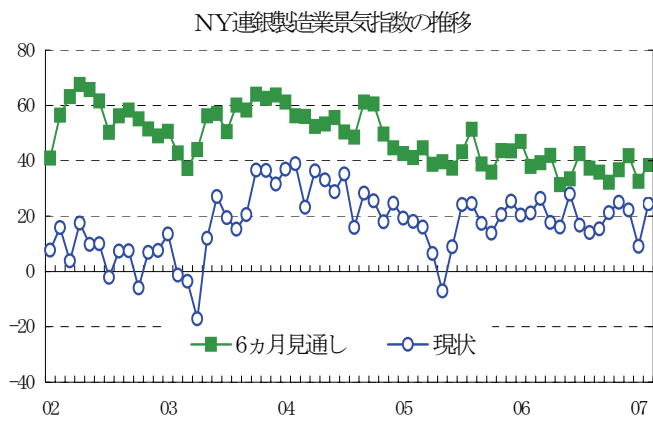
収益面では、「仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合」が低下した一方、「販売価格の上昇を見込む割合」が上昇したことから先行き交易条件の改善が予想されている。

このような中、在庫のプラス幅が拡大しており、今後在庫の積み増しが行われるとみられる。さらに、「週平均就業時間の増加を見込んでいる割合」のプラス幅が上昇したうえに、「雇用者数の増加を見込んでいる割合」が前月から小幅低下にとどまり高い水準を維持したことから、同地区製造業雇用が先行き拡大ペースを速める可能性が高い。

以上のように、先行きの楽観的な見方が強まっており年後半の拡大ペース加速が見込まれる。

**情報化投資を含む
設備投資の堅調持
続を示唆**

設備投資計画は31.18と前月の31.91から小幅低下したものの高い水準となっていることから、2007年のNY連銀管轄地区製造業部門での設備投資は堅調さを維持する可能性が高い。ハイテク支出見通しは、前月から上昇し高い水準を維持しており、目先情報化投資が堅調さを維持すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。